

会員のみなさまをはじめ全国の保健所職員のかたがたが、昨年から引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び感染者の療養調整にご尽力をいただいたことに対しまして、心から敬意と感謝を申し上げます。

東京保健所長会の石原美千代会長には、お忙しい中、昨年度から本総会の準備をしていただきました。東京で総会が開催されるのを楽しみにしておりましたが、第5波の最中に開催方法を決定しなければならず、先行きが見通せない中、理事会にお諮りし今年度の総会議事は昨年度と同じく文書表決とさせていただきます。どうかご理解のほどよろしく願い申し上げます。

さて、今年度の取り組みですが、短期的には新型コロナウイルス感染症に臨機応変に対応していくとともに出口戦略を考える必要があります。また、中長期的にはこれまでも増しての保健所機能強化を図る必要があります。健康危機管理に関する委員会では、新型コロナウイルス感染症に関する課題を整理し、国への要望や意見の提出を精力的に行っております。地域保健の充実強化に関する委員会では、新型コロナウイルス感染症への医療体制や包括ケアの推進とともに、健康危機管理時に備えた人員確保も視野に入れた平時の保健所機能強化について検討をお願いしています。公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会では、事業班と連携してサマーセミナーなどをオンライン開催するなど工夫を凝らし、社会医学系専門医制度についても影響が最小限となるよう検討いただいております。

各担当理事会につきましては、理事の皆様はお忙しい中ですがメールやオンラインを活用して例年どおりの事業を行っていただいております。総務担当理事会では予算の管理、理事会・総会の運営などを、渉外担当理事会では国への要望活動の企画・実施などを、学術担当理事会では地域保健総合推進事業の募集・進捗管理、学会奨励賞の推薦などを、研修担当理事会では保健所連携推進会議や研修会の企画・運営などを、広報担当理事会ではホームページの管理やメールマガジン発行などを、それぞれ精力的に実施いただきました。

会員の皆様におかれましては、このような本会の活動に今後とも変わらぬご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症が終息し皆様と一堂に会しての意見交換が早期にできることを祈念して総会開催にあたってのご挨拶といたします。